

(※印については、参考スライドに記載あり。)

● B小委員会

【対処方針】

CD文書の審議においては、これまでの我が国の提案が反映されるように努めつつ、早期の文書化を推進する。今後の作業スケジュールについては、新しいメンテナンスサイクルを確認し、CISPR 11の修正の早期発行の合意を得られるよう審議を促進する。また、ITUにおけるWPTの基本周波数の特定(WRC-19 議題9.1 課題9.1.6「EV用WPTの緊急研究」)に係る審議状況を考慮して対処する。

【審議結果】

現在の委員会原案(CD)文書における許容値を15dB緩和すべきとの主張があったが、我が国は共用検討等のエビデンスなしに15dB許容値緩和は受け入れることはできないと主張。本年12月をめどに、コメント用審議文書(DC)を配布し、各国に対して、①許容値緩和に対する賛否及び②共用検討等のエビデンス について情報収集し、引き続き議論することとなった。